

2024年8月28日

大阪・関西万博「未来の都市」パビリオンでの出展内容を公表 ～ 日立造船の技術で「幸せな未来」を ～

日立造船株式会社は、本日、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会が東京都内で開催した大阪・関西万博の未来社会ショーケース事業・フューチャーライフ万博「未来の都市」協賛者のパビリオン展示内容発表会に参加し、展示コンセプトや来場者が体験するメインコンテンツについてなどのプレゼンテーションを行いました。概要は次のとおりです。



【キービジュアル】

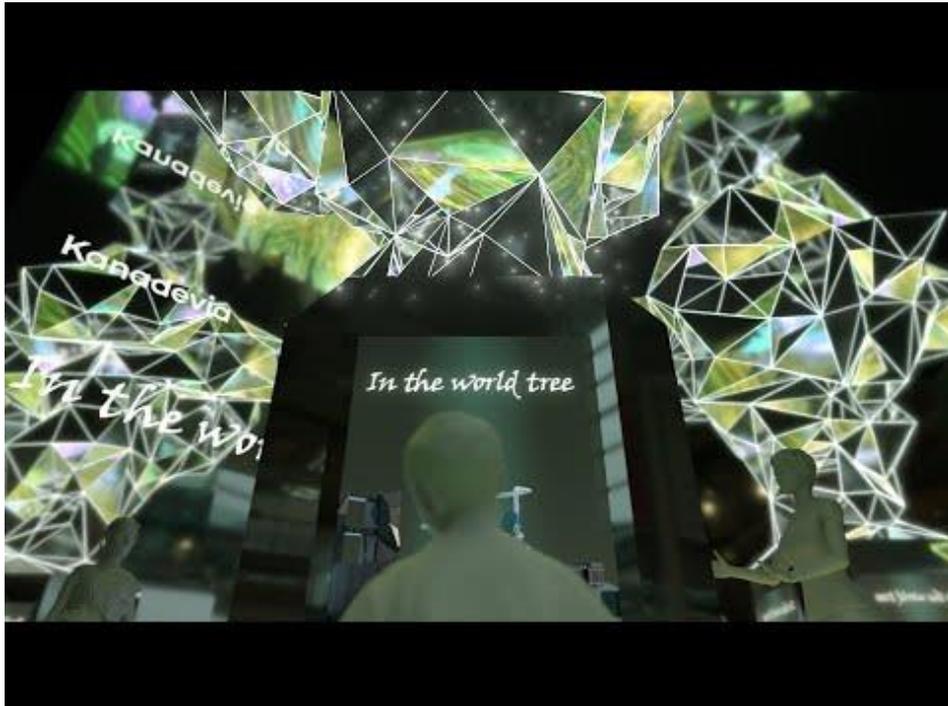
※商号変更後のイメージ

当社は、ブーステーマを「日立造船が目指す、人と地球の「幸せな未来」。それは、人の幸せが地球の幸せになり、人のエネルギーが地球のエネルギーになること。そんな幸せな未来を、日立造船の技術で創っていく」とし、人と地球のつながりを体現するベースとして「世界樹（World tree）」を設定し、「In the world tree」を出展コンセプトとしました。

具体的な展示内容としては、現在と未来、サイバー（仮想）とフィジカル（現実）、人と地球とテクノロジーという概念を融合させる象徴として、世界樹をブースの中心に配置しました。また、その幹には4つのミラーサインージの体験装置（E-motion device）を設けました。訪問者は、体験装置を通じ、IoTやAIと資源循環・脱炭素技術が融合した Society 5.0の社会および当社のビジョンを自らの体を動かして楽しみながら感じることができます。

4つの体験コンテンツのタイトルは次のとおりです。

1. 資源ごみで、クルマとまちを動かそう
2. 生ごみで、まちを支えよう
3. 紙ごみで、ひこうきを飛ばそう
4. いろんなごみで、社会を動かそう



【4つの体験コンテンツのダイジェスト動画（画像をクリックください）】

当社は、この展示を通じ、来場者一人ひとりが資源循環やカーボンニュートラルという視点を日常の行動基準に取り入れ、技術の変革だけが社会を変えるのではなく、一人ひとりの意識改革や行動の変容もまた、社会を変えていく力となるという想いを共有したいと考えております。

また、当社は、ブースアテンダントのユニフォームを決定しました。デザインは、環境に配慮したグリーンマテリアル、かつ高機能な素材を使用したユニフォーム作りを得意とする株式会社ゴールドウイン（東京都港区、渡辺 貴生社長）が手がけ、同社が展開するコンディショニングブランド「ニュートラルワークス。」に位置付けられます。ユニフォーム作成に当たっては、AIを用いて生地のカット時に発生する廃棄物を大幅に削減し、ファッションの新たな生産システムを探求することなどを目的とした同社のプロジェクトである「SYN-GRID（シングリッド）」を活用しています。



【ディレクターアテンダント用】



【一般アテンダント用】

現在、当社は「資源循環」「脱炭素化」「安全で豊かな街づくり」を軸に事業を展開しております。本年10月1日からは新社名「カナデビア株式会社」として事業を展開することになります。コーポレートブランドのコンセプトである「技術の力で、人類と自然の調和に挑む」を旗印に、社員一人一人がステークホルダーとともに「サステナブルで、安全・安心な社会の実現に貢献するソリューションパートナー」を目指し、挑戦を続けていきます。

(終)